

令和5年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

警固屋中学校区 校番8 学校名 警固屋中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	<p>○生徒の資質・能力を育むため、個の実態に応じた学力の定着を図ることはよいことと思います。</p> <p>○生徒数が少ないということがあるかもしれないが、全体的にも生徒個人的にも包括的によく把握しておられ、故に目標設定も適切にされています。</p> <p>①目標はよいと思いますが、英語・数学は令和4年度と比べて悪くなっています。上昇するようによろしく願います。</p> <p>○メディアの使用時間の自己目標達成率の目標値については、102%達成できているので、もう少し目標を高く設定してもよいと思う。</p>
目標達成のための方策の適切さ	B	<p>○1つ1つの課題について、無理のない範囲で方策が考えられています。</p> <p>○目標達成のために掲げた方策により、概ね達成のレベルだと思えます。2月には全ての目標が達成できているよう期待しています。</p> <p>②ICTの活用であるとか、警固屋学園授業スタイルでの授業実践など、様々な方法で工夫しながらいろいろと挑戦しており、また、日々変化する生徒の心の部分も見極めながら、生徒のために戦っておられると感じました。しかし、様々なルール、規制の中で十分にやり切れていないのではと感じます。</p> <p>○目標設定2年目ですので、達成できるよう頑張ってください。</p>
自己評価の結果の分析の適切さ	A	<p>③総合的に良いと思いますが、8年生の回答、自己目標の達成率が低いのが少し気になります。</p> <p>○全国学力調査における無回答率と比較するのであれば、警中の無回答率との比較表があれば分かりやすい。</p> <p>○客観的に自己評価ができていて、今後の課題をも導き出せています。</p> <p>○これだけ状況を理解して分析していれば充分であろう。</p>
今後の改善策(案)の適切さ	A	<p>○改善策を実施すればよいと思います。</p> <p>○今後の改善に向けて、生徒と教職員がともに安心、健康的に学校生活を送れるよう目標を掲げています。</p> <p>○今後、無回答率が高い教科の取組をされることに期待しています。</p> <p>○先生方は十分分かっていると思います。</p>
その他		<p>○「多様性」ということで話がありました。私たちや保護者の時代とは大きく変化していると改めて感じた。ニュース等で見たり聞いたりしていたことが、学校の中にも入ってきて、先生方を悩ませていることが分かりました。子供たちのために、その時々での最善の力を発揮し、評価・反省をしていけば良い学校になると思っています。</p> <p>○LGBTQに関する認識や学校の対応(教育委員会の仕事だと思いますが)は、よくよく考えておく必要があると思います。</p> <p>○中1ギャップの話が出たときに、ある面必要なことという意見がありました。認識は少し違うかもしれないが私も同感です。失敗をする、間違える、問題を起こすことにまっすぐに偏見なしに向き合うことに答えがあるように思います。</p> <p>○小学校や保護者との連携をよろしくお願いします。</p>

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<p>①警固屋学園スタイルの授業実践を継続しながら、学力補充(天風録・放課後指導)などをしていく。</p> <p>②主体的に学習に取り組めるよう学習の見通しを持たせたり、学習したことを振り返ったりして子どもの変容を自覚できる場面を取り入れる。話し合いの必然性のある課題を設定したり、話を聞き合える関係性の構築を図ったりする。</p> <p>③学年行事や学校行事を通して、お互いを評価しあえる活動や自分の役割を十分に達成させ充実感を味わうことができるようにしていく。</p>
--------------------	--